

2020年3月10日

各位

上場会社名 株式会社 ぱど
代表者 代表取締役社長 小澤 康二
(コード番号 4833)
問合せ先責任者 取締役管理統括本部長 小泉 一郎
(TEL 03-5216-9180)

第三者割当増資に係る資金使途変更に関するお知らせ

当社は、2017年3月31日を払込期日として行いました第三者割当増資に係る資金使途を変更しておりましたのでお知らせいたします。なお、本開示につきましては、使途を変更することを決定した際に実施すべきでしたが、当社の開示に関しての認識不足により、開示が遅れましたことにつきまして深くお詫び申し上げます。

1. 変更の理由・経緯

当社は、2017年3月31日を払込期日としてRIZAPグループ株式会社（以下「RIZAPグループ」といいます。）に対する第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）を実施し、その調達資金を、下記「2. 資金使途変更の内容」の変更前の表に記載のとおり充当する予定でおりました。

しかしながら、次の①から⑥に記載の理由から下記「2. 資金使途変更の内容」に記載のとおり各資金使途を変更しておりました。変更の内容の詳細につきましては、下記「2. 資金使途変更の内容」に記載の表をご参照ください。

① Webビジネスの強化

地域情報を紙だけでなくWEB・アプリ等様々な媒体で活用していくこと（好調な求人広告分野をさらに強化するために、ぱどに掲載される求人情報及びぱどが持つ派遣先情報を集約したポータルサイト「ぱどJOB」のオープン、既存フリーペーパーの公式サイトオープン、美容関連Webクリニックポータルサイトのオープン、ぱど掲載クーポンをスマートニュースに配信する取り組み等）、スタンプ機能・くじ機能・プッシュ通知機能を持ったスマホアプリ「ぱどにゃんこ CHECK」への投資、読者・サイト会員情報の集約とマーケティング支援事業展開・地方創生事業の提案領域拡大等に資金を充当してまいりましたが、2018年6月度からの医療法改正に伴う美容医療サービスの広告規制へ対応するための美容関連Webクリニックポータルサイト作成をはじめ、新規サイトの作成に当初見込み以上に費用がかかってしまったこと、また、ソフトウェアリニューアルに想定以上の件数・時間を要したことが要因となり、当初の予定を超える資金需要が生じた結果、当該使途への充当金額を340百万円から485百万円に増加させておりました。

② シニア向け新規媒体の開発

マーケティングに関する調査費用は発生しましたが、シニアマーケットの開拓が想定していたように進まず、人員体制構築のための費用の発生には至らなかったため、充当金額を当初予定していた金額よりも減少させておりました。

③ 主婦層向け・シニア層向け物販ビジネスへの参入

マーケット調査や医療系に特化した人材コンサルタントの利用に係る費用は発生しましたが、インターネット

を經由しての主婦層向け・シニア層向け物販ビジネスへの参入見送りにより Web での物販ビジネスのためのシステム構築には至らず、そのための費用は発生しませんでしたので、充当金額を当初予定していた金額よりも減少させておりました。

④ 「ばど」の発行エリアの拡大・統廃合

新メディア配布先開拓やその調査費用は発生しましたが、新規に人材を採用するまでには至らず、そのための費用は発生しませんでしたので、充当金額を当初予定していた金額よりも減少させておりました。

⑤ ポスティング体制の強化及びポスティング事業の外販開始

管理システムの改修に係る費用は発生しましたが、ポスティング体制の強化による外販を受注するまでに至らず、関連費用の発生もしませんでしたので、充当金額を当初予定していた金額よりも減少させておりました。

⑥ 企画・営業力強化

ほぼ当初の予定どおり実行され、そのための費用も充当されましたが、営業人員の採用や現在の営業人員への教育による営業体制強化のため、人材・営業コンサルティング会社の支援に関する外注費、コンサルティング料等が増加し、予定よりも追加で資金が必要となりましたので、充当金額を当初予定していた金額よりも増加させておりました。

以上の理由により当初の資金使途を変更することとなりましたが、その結果として発生した調達資金の総額と実際に上記の使途に充当した金額との差額 221 百万円については、印刷費及び配布費用等の仕入代金に充当いたしました。

2. 資金使途変更の内容

第三者割当増資による資金使途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は__で示しております。)

【変更前】

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① Webビジネスの強化	<u>340</u>	2017年10月～ 2019年3月
② シニア向け新規媒体の開発	<u>95</u>	2017年4月～ 2019年3月
③ 主婦層向け・シニア層向け物販ビジネスへの参入	<u>210</u>	2017年7月～ <u>2019</u> 年3月
④ 「ばど」の発行エリアの拡大・統廃合	<u>115</u>	2017年4月～ 2019年3月
⑤ ポスティング体制の強化及びポスティング事業の外販開始	<u>70</u>	2017年4月～ 2019年3月
⑥ 企画・営業力の強化	<u>125</u>	2017年4月～ 2019年3月
合計	955	—

【変更後】

具体的な使途	金額 (百万円)	支出時期
--------	----------	------

① Webビジネスの強化	<u>485</u>	2017年10月～ 2019年3月
② シニア向け新規媒体の開発	<u>26</u>	2017年4月～ 2019年3月
③ 主婦層向け・シニア層向け物販ビジネスへの参入	<u>6</u>	2017年7月～ <u>2018年3月</u>
④ 「ぼど」の発行エリアの拡大・統廃合	<u>46</u>	2017年4月～ 2019年3月
⑤ ポスティング体制の強化及びポスティング事業の外販開始	<u>40</u>	2017年4月～ 2019年3月
⑥ 企画・営業力の強化	<u>131</u>	2017年4月～ 2019年3月
⑦ 印刷費及び配布費用等の仕入代金	<u>221</u>	<u>2018年4月～</u> <u>2019年3月</u>
合計	955	—

3. 今後の見通し

本件の資金使途の変更が2020年3月期連結業績に与える影響はありません。

4. 適時開示における今後の体制について

今般の資金使途の変更についての開示においては、使途を変更することを決定した際に適時開示を行うべきでしたが、当社としては、当該変更による重要性を認識しておらず、その後充当資金の推移を検証した際に、資金使途の変更を開示する必要があるとの認識に至ったことから、お知らせが遅くなってしまいました。

今般の開示遅延を受け、今後は適時開示体制について、主に以下の整備を進め、運用を行うことにより、適切な開示を行うよう、努めてまいります。

- ① 適時開示に関する規程・マニュアル等の整備
- ② 適時開示を行う必要がある事象について、適時開示業務の担当部署への報告の周知徹底
- ③ 運用状況の定期的な確認

以 上